

『余地』

～相談業務を楽しむ方法 28～

<頭の中のジェノグラム>

杉江 太郎

～頭の中のジェノグラム～

この仕事をしてからというもの、ニュースやワイドショーなどで全国の事件や芸能人の話題を聞くたびに、頭の中でその登場人物のジェノグラムを描くようになった。それは、子どもが亡くなったというような仕事に直結するような内容だけではなく、芸能人の婚姻から不倫まで、さらにはブラックバイトの加害者に至るまで多様である。この癖は、仕事を始めてすぐに身についたものではなく、おそらく様々なところで家族について学び、目の前の子どものことを家族という集団を通して考えるようになって身につけてきたものだと思う。

ニュースやアニメで見た、芸能人や登場人物の気になったジェノグラムを書き溜めて、勉強会などで使ったりしている。16歳で結婚した芸能人や、子沢山の芸能人、女性との浮気後に離婚し、他の複数の女性と生活を共にしていると報道され、その後その片方の女性（妊娠中）と婚約した男性、さらには日本を代表する国民的アニメに至るまでそのジェノグラムは

様々である。最近では、5歳の幼稚園児が登場する国民的アニメの父方の伯父さんが婚姻するというエピソードがあり、その婚姻相手には以前の夫との間に子どもが2人いるという設定で、子連れの方と結婚するという、いわゆるステップファミリーまで登場した。

またアニメで有名なジェノグラムと言えば、日曜日に放送されている一家だろう。両親の年齢や、きょうだいの年齢差、三世代が同居し、アニメから「マスオさん」という言葉が家族形態を説明する言葉として広がったような家族の構成など、いざジェノグラムを通して見てみると、様々な想像が駆り立てられる。その家族について、最近では、夫婦別姓の制度が取り入れられると、様々な名字が混在することになるというSNSの投稿も見たことがある。

～想像力を働かせる訓練～

決して芸能人の浮いた話が好きなわけではない。むしろ報道されている話題（ゴシップ）には興味はなく、そのことより

も、この人は一体、どのような育ちをしてきた人なのだろうか、どのような家族体験をしてきた人なのだろうか等とその人の育ちや家族歴に興味が移っていく。また、こっそりとこの人のジェノグラムは勉強会で使えるかもしれないなんてことも考えている。今では、ネットを利用すれば、その家族の生年月日や家族の成り立ちなどを簡単に調べることが出来る。その情報を元にジェノグラムを作成し、報道されているエピソードとは切り離れたところで、どのような体験をしてきたのだろうかと思像をする。その想像を補完するためのツールがジェノグラムなのである。

この癖が身についてからというもの、仕事中に耳にする家族について情報を聞いたときに、まずは頭の中でジェノグラムを作成し、それを書き起こす作業が断然早くなったように思う。実際に書き起こすことはないが、職場内の同僚と話している際にも、その方の家族の話など聞きながら、実は頭の中にジェノグラムが出来ているなんてこともある。

家族のエピソードを聞いたときに文字で認識して、文字でメモを残すよりかは、ジェノグラムのように図式化してメモをする方が、後から見返したときに家族の状況が一目で把握できるし、情報が濃縮されることになる。ケースの対応を検討するにしても文字だけを眺めるよりかは、ジェノグラムがある方が、色々な視点で

物事を考えることが出来る。

前職は営業であったが、そのときはジェノグラムという存在をほとんど知らず、目の前の方とのやりとりでも、契約をしてもらうかどうかを優先してしまったあまりに、家族の情報を丁寧に聞くことをしておらず、聞いた情報もメモで残す程度しかしていなかった。今思えば、目の前の方の家族のエピソードに向き合い、語られた内容や、その中で把握できたジェノグラムなど目に見える形で記録に残しておけば、後から営業をするときにも役に立っただろうし、何なら成績をもう少しあげられたのではないかと考えている。

～ジェノグラムとのお付き合い～

この仕事は、目の前の事象だけにとらわれていると中々前に進むことが出来ない。因果論に陥らず、「何が出来るのか考える」「間違った問題解決の方法をしないか」という視点は、家族を学ぶようになったきっかけを与えてくれた講師（団先生）の教えである。ジェノグラムを作成し、少し離れた視点で、家族について思いを馳せることで、因果論に陥るという罠から脱出することが出来る。

援助方針やカンファレンスなどで事例を扱う場合、まずはジェノグラムを作成するところから開始する。ジェノグラムを描きながら、何歳で子どもが生まれたのか、何歳で婚姻したのか、子どもが何

歳のときに離婚したのかなど、数字を書き込みながら、そのときにどのような体験があったのだろうかと思いを巡らせる。

家族との距離感や、性差による境界もジェノグラムを通して見ると一目瞭然である。家族自体が移り変わるものであることを考えると、ジェノグラムも移り変わるものである。時代や出来事ごとにジェノグラムを作成し、スライドショーで見られるようにするとその変化もわかりやすい。

一度作ったジェノグラムをデータで残しておく、(ちなみに私はエクセルで作成して、シートごとにデータを残している) 良いのか、悪いのか数年後に、その家族に出会うことがあり、一から作らなくて良く、知らない人にその家族のことを説明するときにも効率的である。

ジェノグラムを描くには、最初は時間がかかってしまうかもしれないが、たくさんのジェノグラムを描く中で、慣れと共に書くスピードやコツが上がっていく。一度、騙されたと思って、国民的アニメのジェノグラムを作成するところから初めてみて欲しい。ジェノグラムだけを見て、どんな家族なのか、この年齢差はといったい・・・などと想像するだけでも、想像力を働かせる訓練に繋がり、物事を柔軟に捉えることに役に立つだろう。

どこかに面白いジェノグラムがないかなどと思いながらニュースを見ていると、普段と違ったニュースの楽しみ方ができ

るかもしれない。

手始めに、「日曜日、18 時半からのアニメの一家」「少し下品な 5 歳児が登場するアニメ」のジェノグラムから描いてみてはいかがでしょうか。